

平成30年度久喜市生涯学習推進会議
第1回会議

生涯学習推進会議の役割

—生涯学習の中核としての役割—

平成30年9月6日（木）

本日の内容

はじめに

- 1 社会教育 と 生涯学習
- 2 生涯学習推進会議の役割
- 3 今後の主な取組み

おわりに



はじめに

変化する社会情勢

- 少子高齢化・人口減少
- 急速な情報化・人工知能（AI）の技術革新
- 子どもたちの現状と取り巻く環境

➔ 将来の変化を予測することが
困難な時代

久喜市について

平成22年に久喜市、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町の1市3町の合併

人口 153,901人

男 76,861人

女 77,040人

平成30年5月1日現在

市内小学校数 23校

中学校数 11校



放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)



コミュニティ・スクール(学校運営協議会)

「**地域**とともにある**学校**づくり」
学校も、地域も元気!



誰もが笑顔で暮らせる地域づくりを

「**学校**を**核**にした**地域**づくり」

1 社会教育と生涯学習

社会教育の範囲

社会教育法 より

学校の教育課程として行われる教育活動を除き、
主として青少年及び成人に対して行われる
組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）をいう。

➔ **学校・家庭以外の広く
社会で行われる教育**

生涯学習の範囲

平成20年中央教育審議会答申 より

各個人が行う組織的ではない学習(自学学習)のみならず、社会教育や学校教育において行われる多様な学習活動を含め、国民一人一人がその生涯にわたって自主的・自発的に行うことを基本とした学習活動

➡ **学校教育 + 社会教育**
+ 家庭教育 + 自己学習

生涯学習

= 「学ぶ者」に着目した（概念）

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。（教育基本法第3条）

教育による学習

「教える者」と「学ぶ者」によって行われる行為

家庭教育による学習

学校教育による学習

社会教育による学習

学校・家庭以外の広く「社会」において行われる教育

自学学習

= 「学ぶ者」のみによる行為

- ・ 読書等の自主学習
- ・ スポーツ活動
- ・ 文化活動
- ・ 奉仕活動・体験活動
- ・ 趣味やレクリエーション活動における学習

生涯学習とは

久喜市生涯学習推進計画より

子どもから高齢者までの、「すべての市民」の「生涯にわたる学習」が対象。市民一人ひとりが自らの意思に基づき、「いきがい」のある充実した人生や「心の豊かさ」を求め、自ら進んで行う具体的な学習活動。

- (1) 人々が生涯にわたって自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような社会の構築をめざす考え方としての生涯学習。
- (2) 学校教育、社会教育などの教育活動、自己学習活動、新しい知識、技能などを習得するための学習や日常生活での学習、それらの学習の総体としての生涯学習。

生涯学習

社会教育

まちづくり
地域づくり

人づくり

2 生涯学習推進会議の役割

久喜市生涯学習推進会議条例による役割

- (1) 生涯学習の推進のための提言に関すること
- (2) 生涯学習の推進に関する基本的な指針の策定に関すること

久喜市生涯学習推進計画(まなびすとプラン)

【平成30(2018)年度～平成34(2022)年度】

基本目標

市民がつくる まなびのまちづくり

「まなぶ」と「いかす」を「つなぐ」・「ささえあう」ことで
豊かな人づくり、まちづくりを目指します。

施策の柱

- | | |
|-----------|-------------------|
| (1) まなぶ | 〔様々な学びの提供〕 |
| (2) いかす | 〔学んだことがいかせる場の整備〕 |
| (3) つなぐ | 〔学びでつなぐネットワークの推進〕 |
| (4) ささえあう | 〔学びを支えあう体制づくり〕 |

まなぶ

〔様々な学びの提供〕

いかす

〔学んだことが
いかせる場の整備〕

ささえあう

〔学びを
支えあう体制づくり〕

つなぐ

〔学びでつなぐ
ネットワークの推進〕

本市の生涯学習の課題

- ① 学習機会の充実
- ② 学習成果をいかす環境づくり
- ③ 学習情報の収集・発信、相談体制の充実
- ④ 生涯学習推進体制の強化

久喜市のよさをいかす生涯学習

- ① 生涯学習推進会議・生涯学習推進部
- ② 市民大学・高齢者大学
- ③ 放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）
コミュニティ・スクール
- ④ 市民まつり等

3 今後の主な取組み

今後、検討し、取り組んで いただきたい事項

- ① 生涯学習研修大会
「まなびすとフォーラム」
- ② 生涯学習推進大会 「まなびすと久喜」
- ③ 4地区まつりブース出展
- ④ シニア世代の地域デビュー支援

① 生涯学習研修大会 「まなびすとフォーラム」

<趣旨>

生涯学習に関わる市民が一堂に会し、学習成果をいかした地域コミュニティづくりやまちづくり等のテーマについて語り合う。

① 生涯学習研修大会 「まなびすとフォーラム」

- ・ 6月第2土曜午後
- ・ 県立高校学生食堂等
- ・ 学校教職員、PTA役員、学校運営協議会
委員、ゆうゆうプラザ関係者、市民大学
・ 高齢者大学、その他各団体等
- ・ 大会テーマについて、10人くらいの
グループディスカッション

② 生涯学習推進大会 「まなびすと久喜」

<趣旨>

市民に広く生涯学習の楽しさや素晴らしさを体験していただくとともに、日頃の学習活動の成果を発表する場とする。

また、一緒に学ぶ喜びを通じて、市民の生涯学習意欲を喚起し、新たな『まちづくり創造』へ寄与する。

② 生涯学習推進大会 「まなびすと久喜」

- 2月第1土曜・翌日曜
- 中央公民館、菖蒲文化会館他
- 実行委員会を組織
- 参加者 子どもから高齢者まで
- 1日目 まちづくりフォーラム
- 2日目 発表会・体験コーナー等

③ 4地区まつりブース出展

<趣旨>

生涯学習の啓発・推進のため、生涯学習紹介ブースを出展。

10月 久喜市民まつり（久喜地区）

コスモスフェスタ（鷺宮地区）

11月 菖蒲産業祭（菖蒲地区）

栗橋やさしさ・ときめき祭り

（栗橋地区）

④ シニア世代の地域デビュー支援

おわりに